

血中ビタミンA濃度を指標とした肥育指導を実施

畜産センターでは、高品質牛肉生産技術の向上を目的として、肥育牛の血中ビタミンA濃度を測定しています。

今年度は、今年開催される第12回全国和牛能力共進会出品候補牛を中心に測定しました。

昨年6月に肥育農家へ導入された4戸計13頭の候補牛を2か月に1度採血し、測定することにより、肥育する過程で増体や肉質に影響を与えるビタミンコントロールが適切になされているかを確認できます。

他の肥育農家3戸においても、と畜場に出荷されるまで経時的にビタミンAを測定することで、農家独自の飼料給与体系構築の一助となっています。

当センターでは、今後も肥育農家に寄り添い、支援をおこなっていきます。



ビタミンA分析作業